

平成26年度

社会福祉法人 阿闍羅会

障害福祉サービス事業所

【生活介護事業】

【就労支援B型事業】

ワークキャンパス大鰐

事業報告

住 所：青森県南津軽郡大鰐町大字三ツ目内

字水沢出口117番1

電 話：0172-48-2426

F A X：0172-48-2483

〈Ⅰ〉 支援内容	
1. 生活支援	
【生活介護・就労支援B型共通】	1
【生活介護】	1
2. 作業支援	
【就労継続支援B型】	2
(1) しいたけ事業	2
(2) 花・野菜事業	3
3. 保健支援	5
4. 余暇活動支援	
①行事等	8
②利用者会活動	9
・利用者会全体会	10
・行事委員会	10
・お茶委員会	10
・広報委員会	10
〈Ⅱ〉 給食	11
〈Ⅲ〉 防災	12
〈Ⅳ〉 広報	13
〈Ⅴ〉 研修及び会議	
(1) 会議開催状況	15
(2) 研修参加状況	16
〈Ⅵ〉 地域生活支援	17
〈Ⅶ〉 苦情解決	17
〈Ⅷ〉 外商	19

## 〈I〉 支援内容

### 1. 生活支援【生活介護・就労継続支援B型 共通】

担当：中平恵美、山中司

- ・日常生活に必要な、基本的な生活習慣の自立を目的とした。
- ・自立性を養い、毎日の積み重ねによって望ましい習慣の形成や、社会生活の態度・性格の社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援を行った。

#### ○支援内容

##### ①基本的習慣の定着

あいさつ、排泄、整理の手当て、衣類の着脱、調整、たたみ方、歯磨き、手洗い、うがい、指手のアルコール消毒、食事とその後始末、整理整頓、掃除の支援を行った。

##### ②コミュニケーションを図るための支援

- ・言語と受容と表出に関する支援を行った。
- ・パニックに対する本人及び周りの利用者への理解に関する支援を行った。
- ・コミュニケーション手段の選択と活用に関する支援を行った。

##### ③行動に支障がある利用者に対する支援

- ・精神面及び身体面に関する理解とそれに関する支援を行った。
- ・強度行動障害への理解とそれに関する支援を行った。
- ・自閉症に対する理解とそれに関する支援を行った。

##### ④日常生活を送る為に安全な環境作りの支援

- ・作業場の整理整頓をし足場等に危険がないように配慮した。
- ・行事活動及び休憩時間等に怪我をしないように注意した。
- ・危険と思われる物（刃物、工具など）の管理をした。

### 【生活介護】

担当：山中司、中平恵美

【年間作業収入 365,742円】

#### ○内容及び次年度への課題

事業目的にあげるサービスを基にした内容のプログラムに沿って、生産活動、健康維持活動、余暇活動や同設される就労支援B型を利用されている方々との交流も大切にし、変化に富んだ楽しい時間を過ごしていただけるような工夫をし、個々のニーズに応じながら支援を行っていききたい。また、利用者の体調・健康管理を看護師によるバイタルチェックも今まで同様に行っていく。次年度は今年度の反省点(バイタルを行う曜日や休んでいる利用者への配慮等)を含め、利用者の体調・健康管理を徹底したい。

## 2. 作業支援

### 【就労継続支援B型】

担当：植田善久

平成26年度は一人当たり平均月額9,000円を目指したが、平均8,490円前後で推移している。残念ながら目標には届かなかったが昨年度より150円ほど上回っている。今年度も自主的な挨拶・時間の遵守を重点項目としたが、挨拶はまだ自主的に出来ない利用者が多く見られた。時間遵守に関しては休憩後、お昼の作業時間にはほとんどの利用者が守れることが出来ていたように思われる。しかし、朝の会やお昼ご飯、帰りの会に出る時間が守れない利用者が何名かいた。また、時間を守れる利用者とならない利用者がほぼ決まってきたように思われる。次年度は、今まで以上にきちんと時間を守れるように声かけをしていきたい。

また、利用者の休みが前より増えてきた。普段の作業で頑張りすぎないように配慮していくとともに、家庭とも連絡を取り利用者の支援につなげていきたい。

#### (1) しいたけ事業

担当：植田善久

【年間作業収入 10,085,757円】

栽培菌種	入荷菌床数	入荷時期	発生期間
北研73号	3000菌床(A)	平成26年3月	平成26年6月～平成26年11月
北研607号	5000菌床(D)	平成26年5月	平成26年9月～平成27年5月
北研513号	5000菌床(C)	平成26年5月	平成26年10月～平成27年5月
北研607号	4000菌床(B)	平成27年1月	平成27年3月～平成27年月
北研73号	3000菌床(A)	平成28年3月	平成28年6月～平成28年月

平成26年度 発生菌床合計数 17000菌床

平成27年度 入荷菌床合計数 17000菌床

○内容及び次年度への課題

平成26年度のしいたけ売り上げ金額は、1菌床あたり593円と昨年度より180円ほど上回った。

菌床玉の数が17,000と昨年度より2,000減らしたがしいたけの収穫量が約2,000kg以上増えたこと、夏場は収穫量が減ったがお客様用のしいたけをあまり断ることがなく出せたこと、新たな取引先としてあいのり温泉に毎週納品できるようになったことが収入増の要因としてあげられる。

また、サンマッシュの全国大会に今年度も出品したが、銅賞にとどまってしまったため次年度は金賞をめざして頑張りたい。

また、前年度収穫量減の原因となったカビ繁殖への対策としてハウスに送風機を設置したところカビの被害がほとんどなくなった。C、Dハウスにも電灯を設置したことで利用者が見えやすくなり環境も改善された。

今年度も引き続き近隣住民、企業・業者へしいたけを販売し、平行して新しい販路の拡大を図りたい。しいたけが大量発生したときに販売できる得意先を見つけ、もっと収入が上がるように頑張りたい。

(2) 花・野菜事業

担当：中畑 幸

【年間作業収入 424,631円】 ※いとく分の収入は、しいたけ事業に含まれています。

・野菜事業：オクラ

ワニカム	928個	×	84円	=	77,952円
いとく	1508個	×	85円	=	128,180円
弘果					24,100円
一般売り〈大病、外商含む〉					68,554円
合計					298,786円

・蔵館小学校・広野バッテリーセンター花壇耕耘及び定植。

広野バッテリーセンター	36,000円
蔵館小花壇苗	43,000円
小計	79,000円

・つつじ祭り・一般販売

つつじ祭り	17,280円
一般売り	29,565円
小計	46,845円

花・野菜合計 424,631円

○内容及び次年度への課題

オクラ：今年品種をガリバーで定植している。収穫量は 389, 4 kg と目標としていた 400 kg には到達出来なかった。しかし、例年だと露地栽培したオクラが鱈カムやいとくで販売され、金額もキャンパスよりも安く出ているのだが、降水量が多かったこと、また、ライバル卸業者の金額を見て、値段を変更したり、グラム数を変更した結果、いとくでは 1 日最高 80 袋販売されていた。夏季野菜は天候に左右されやすいが、ハウス栽培の強みを活かして、生育管理を徹底して安定した収穫量を計れるようにしていきたい。

花：今年度は蔵館小学校の花壇定植が最後の年であった。降水量が多かったことと、学校側の手入れが上手く行かず、通常だと 1 回だけの定植なのだが、2 回定植を行った。しかし、27 年度からは小学校の定植が決まっていないため、収入が減ることが予想される為、花販売ではなく、野菜販売に力をいれて、減少分を補えるようにしたい。

### 3. 保健支援

担当：中平恵美

#### ①保健指導年間実施日

- ・定期健康診断（小山内医院で実施）

5 / 13 ~ 5 / 30 ・ 11 / 13

- ・身体測定（体温・血圧・体重）

4 / 11 ・ 5月なし ・ 6 / 10 ・ 7 / 8 ・ 8 / 19  
9 / 9 ・ 10 / 24 ・ 11 / 13 ・ 12 / 16 ・ 1 / 15  
2 / 10 ・ 3 / 13

#### ②保健日誌からのまとめ

- 7月中旬から9月上旬まで、熱中症予防対策として利用者全員にペットボトル1本を用意し、こまめに水分補給と適度な休憩を取りながら熱中症予防を行った。

- 利用者・職員全員の体温測定、手洗い、うがい、手指のアルコール消毒を徹底し、インフルエンザやノロウイルスが流行する前に自宅からのマスクの装着を呼び掛けて、みんなでインフルエンザの予防に努めた。その結果、施設内でのインフルエンザ感染者は3名だった。今回、インフルエンザに感染した3名は家族からの感染だった。

- 入浴ですが、毎週火曜日（女子）・水曜日（男子）・木曜日（女子）生活介護利用者を対象にキャンパスで入浴を実施している。利用者の身体機能に合わせて、入浴用具を使用してリスクがないよう対応している。生活介護利用者以外に自宅での入浴が困難な利用者は状況に応じてキャンパスで入浴またはシャワー欲を実施している。

- 洗濯ですが、自宅で洗濯が困難な利用者は、キャンパスで洗濯を行っている。洗濯は朝や帰る前、入浴後など全部自身で行っている。状況に応じて職員が声掛けや支援を行う事もありますが、殆どの利用者は自身で一通り行う事が出来ていた。

#### ■佐々木孝雄利用者

2月頃から腹痛を訴え、キャンパスを欠席するようになった。大鰐病院で検査した結果、大腸にポリープが発見され本人の状態を見ながら大腸ポリープ摘出手術している。手術後は腹痛もなくなり元気にキャンパスに通所している。しかし、血圧が高めで、高血圧の薬を服用と毎日3回の血圧測定を実施している。キャンパスに通所した際は、本人の体調を見ながら作業を行う事と注意深く状態観察を行う必要がある。

#### ■高地真人利用者

3月の休日に自宅で自ら頓服薬10錠を過剰に服用した。その時の本人状態は、ろれつが回らない状態で意識がもうろうとしている状態であることを母から電話連絡を受け

た。休日明けキャンパスを1日欠席して自宅で状態を観察した。一日自宅静養することで快復し、次の日、本人は元気良くキャンパスに通所している。今回の事があり、家族から自宅での服薬管理は家族が行う事を話していた。施設でも服薬管理や誤服薬がないようにする。服薬の時は、名前や服薬数を再確認してから本人に手渡すなど職員で周知徹底していく。

#### ■小山内良子利用者

以前に増して左胸のしこりが大きくなり背中痛みを訴えるようになった。2月に和徳外科外来を受診した。検査の結果、乳がんが骨まで転移し末期の状態であると診断された。すぐ、放射線治療が必要とのことで弘前中央病院で放射線治療を3/12～3/25（平日のみ）通院で10回継続して実施した。放射線治療後は背中痛みがかなり和らぎ、痛みの訴えが少なくなった。その後、和徳健生病院でゾンデの点滴とホルモン剤服用の治療を行っている。医師からは骨に転移して骨がもろくなっている。転倒、骨折、怪我に充分気を付けるようにと話しがあった。これからは担当の医師、家族、グループホーム世話人、施設職員で連携を密に図りながら、今後も本人の状態を注意深く観察していく必要がある。

#### ■古川博之利用者

今年度は非常に精神状態が不安定で「ちゃらーん」と叫んで、施設の壁を叩く、施設の壁や車輦に投石、他利用者をつねる行為が何度か見られた。原因は自分の思うようにならないことや仕事をしたくない事が理由である。本人のイライラを他利用者に被害が行く事や施設の物品を破壊する事を繰り返さないよう、本人を指導していく事と本人のイライラを少しでも軽減し、精神状態の安定を図る事と作業に集中出来る環境作りをしていく。そして、今まで同様に親御さんと職員で連絡を密にし、職員間で情報共有と統一した支援を行う。今後、本人の状態や状況に応じて、精神科の担当医師に相談して助言を頂くことも視野に入れて行くことも必要である。

#### ③次年度の課題・方向付け

- 7月～9月までは、熱中症予防対策として、水分補給強化と適度な休養を取りながら作業を進めていく。（水分補給は、個々にペットボトルの水を準備する。）
- 作業中の怪我を防止するためにも、作業場を含む周辺の整理整頓をし、危険がないよう安全な環境作りと支援をしていく。また、利用者の多くは、不調を訴えたり、健康に気を配ることや衣類調整が苦手なので、利用者からの細かなサインや変化を見逃さず早く気付いて、怪我や病気を未然に防げるよう支援していきたい。
- インフルエンザ感染対策として、感染予防のためインフルエンザ流行の前にインフルエンザワクチン接種の呼び掛けをし重症化を防ぐ。流行時期には流行状況を把握しておく。喉の痛み、鼻水、咳、発熱など体調に変化があった場合には、家族の方と連絡を密にして、インフルエンザ感染を未然に防ぐ事に努めていく。
- 入浴は血行を良くし、精神的にも安らぎを与える。そして、利用者の健康維持、清潔

保持を目的とするだけでなく、異常の発見にも繋がっていく。入浴の目的は様々あります。利用者の障害に応じて、危険がないよう安全な方法で入浴を行っていく。(必要に応じて入浴器具を購入して対応する。)

○洗濯は自宅での洗濯が困難な利用者は、今後も引き続きキャンパスで洗濯を実施する。基本的に施設での洗濯は自立に向けて、自力で一通り行う事とする。状況に応じて声掛けや支援を行う。

○昨年に比べて、様々な病気が発症してきている。病気など未然に防ぐためにも、適度な運動や食事の取り方について、キャンパスの看護師や栄養士と一緒に指導していく必要がある。また、病気に関しては担当の医師に相談しながら、本人と家族が望む治療を安心して受けれるよう支援に努める。40歳以上の女性利用者に対しては婦人科健診を実施していく。

## 4. 余暇活動支援

### ①行事等

実施日	行事名	実施場所
平成26年4月12日(土)	三者面談	ワークキャンパス大鰐
5月10日(土)	レクリエーション	ワークキャンパス大鰐
5月17日(土)	遠足	浅虫水族館
5月31日(土)	バーベキュー	大鰐町町営キャンプ場
6月28日(土)	体験学習	板柳町ふるさとセンター
7月5日(土)	散歩や運動で楽しもう	わんぱく広場
7月26日(土)	西地区レクリエーション	弘一養グラウンド・弥生学園グラウンド
8月9日(土)	夏の収穫祭	森の中の果樹園
8月23日(土)	流しそうめん	ワークキャンパス大鰐
8月31日(土)	青森県障害者スポーツ大会	青森県総合陸上競技場
9月14日(土)	ワークまつり	ワークキャンパス大鰐
9月27日(土)	遠足	八甲田山ロープウェイ
10月11日(土)	三者面談	ワークキャンパス大鰐
10月25日(土)	秋の収穫祭	ワークキャンパス大鰐
11月15日(土)	利用者・保護者・職員交流会	弘前消防署
11月29日(土)	カラオケ	カラオケ合衆国
12月13日(土)	利用者忘年会	あいのり温泉
12月27日(土)	温泉レク	大鰐町地域交流センター
平成27年1月10日(土)	室内レク	大鰐町社会福祉協議会
1月31日(土)	新年会	ワークキャンパス大鰐
2月14日(土)	チョコレートづくり	ワークキャンパス大鰐
3月14日(土)	クッキー作り	ワークキャンパス大鰐

### ○ソフトボール

担当：佐藤直幸、植田善久、秋元兼洋

実施日	行事名	実施場所
5月10日(土)	練習	森山河川敷グラウンド
7月5日(土)	練習	森山河川敷グラウンド

### ・次年度への課題・方向付け

今年度は残念ながら入賞を逃した、次年度は入賞を目指したい。

②利用者会活動

・利用者会全体会

担当：植田善久

実施日	主な内容
平成26年 4月 1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションの感想</li> <li>・三者面談について</li> <li>・2月3月頑張った人</li> </ul>
6月 4日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足の感想</li> <li>・バーベキューの感想</li> <li>・体験学習について</li> <li>・4月5月頑張った人</li> </ul>
8月 1日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションの感想</li> <li>・体験学習の感想</li> <li>・レクリエーションの感想</li> <li>・西レクの感想</li> <li>・流しそうめんについて</li> <li>・県スポについて</li> <li>・6月7月頑張った人</li> </ul>
10月 1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の収穫祭の感想</li> <li>・流しそうめんの感想</li> <li>・県スポの感想</li> <li>・ワークまつりの感想</li> <li>・遠足の感想</li> <li>・三者面談について</li> <li>・秋の収穫祭&amp;体力測定について</li> <li>・8月9月頑張った人</li> </ul>
12月 1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三者面談の感想</li> <li>・親子交流会の感想</li> <li>・カラオケの感想</li> <li>・忘年会について</li> <li>・もちつきについて</li> <li>・10月11月頑張った人</li> </ul>
平成27年 2月 2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忘年会の感想</li> <li>・温泉レクの感想</li> <li>・室内レクの感想</li> <li>・新年会の感想</li> <li>・チョコ作りについて</li> <li>・12月1月頑張った人</li> </ul>

- ・行事委員会 担当：奈良岡亜矢子
  - ・平成26年 4月 4日（金） 12：30～12：40 委員会発足会議
  - ・平成26年 7月 8日（火） 12：30～12：40 忘年会余興について
  - ・平成26年 7月 9日（水）朝の会 忘年会についてアナウンス
  - ・平成26年 9月26日（金）朝の会 忘年会についてアナウンス
  - ・平成26年11月11日（火） 14：45～15：10 忘年会内容決め
  - ・平成26年11月27日（木） 12：30～12：40 忘年会進行担当決め行事委員会を通して責任感や協調性を養った。

- ・お茶委員会 担当：中平恵美
  - ・毎月第3週目に委員会で、次月のおやつを話し合い計画した。
  - ・1月・2月には、お茶委員会で計画したおやつを買い出しに行った。みんなで協力して買い物する事が出来た。
  - ・毎日のお茶委員会の仕事として、お茶出しと片付けを委員同士で協力して仕事をする事により協調性を養うことが出来た。

- ・広報委員会 担当：山中司
  - ・毎月の作業予定及び行事予定を毎月初日に記載・掲示した。
  - ・他施設からの広報誌や、その他さまざまなポスター（案内、情報誌）などの掲示をした。

（広報委員会活動時間 12：30～12：50）

- ・美化委員会 担当：中畑 幸
  - ・委員会の活動を通して、責任感や協調性を養った。
  - ・毎月1回、掃除強化場所を決め、計画を立て掲示した。
  - ・プランター定植後、曜日を決めて水やりを行った。（6月～10月）
  - ・年3回、大掃除の日にちを決定し、大掃除を行った。

## 〈Ⅱ〉 給食

担当：十川文乃

①平成25年度 給食指導 対象者 男 2名 女 5名 計 7名

指導内容	具体的指導方法	対象者
咀嚼・嚥下の補助	①主菜・副菜～刻み食。	女1名 男2名
糖尿病対策	①食事療法。	女1名
肥満対策	①主食の量を軽くする。 ②主菜・副菜～刻み食。	女2名
食事の補助	①フォークの使用	女1名

※全体的に早食い傾向なので、全利用者に対してゆっくり食べるように声かけをしている。

②平成26年度 年間行事食実施表

月	行事	献立名	実施日	備考
7	七夕	冷やしうどん	7月 3日	
9	十五夜	栗ご飯	9月 8日	
10	いも煮会	米沢風いも煮	10月 1日	
12	冬至	かぼちゃのいところ煮	12月22日	
12	クリスマス	コーンライス、トマトクリームシチュー、カップムース	12月25日	
3	ひなまつり	ちらし寿司	3月 1日	

③平成26年度 郷土食 年2回 実施

④平成26年度 嗜好調査 3ヶ月に1回 計4回 実施。

⑤平成26年度 給食だより 3ヶ月に1回 計4回 発行。

まとめ・反省

- ・行事食の際は、季節感を感じながら楽しんで食べていたと思う。
- ・今年度も行事食・嗜好調査・給食だよりを充実させる事が出来たので、来年度も維持していきたい。
- ・今年度も新メニューを数多く出すことができたので、来年度も利用者の楽しみになるようなメニューを出していきたい。
- ・郷土食を2回しか出すことができなかったので、来年度はもっと出していきたい。
- ・平成27年度も健康的で、利用者に喜ばれる給食作りをしていくということを大切にしていきたい。

### 〈Ⅲ〉 防災

防火管理者：植田善久

#### 実施状況

実施施設	月日	訓練状態	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	時間
キャンパス	5 / 20	部分訓練	10:20 ~ 10:30	地震	震度 5	駐車場	2分15秒
すみれ荘	6 / 4	部分訓練	16:30 ~ 17:00	火災	居室 6	玄関前	1分00秒
あやめ	7 / 15	部分訓練	19:00 ~ 19:30	火災	居室 4	玄関前	1分54秒
すみれ荘	9 / 16	部分訓練	17:30 ~ 18:00	火災	居室 3	玄関前	1分32秒
キャンパス	10 / 1	総合訓練	11:00 ~ 11:15	火災	医務室	駐車場	2分30秒
あやめ	10 / 15	部分訓練	19:30 ~ 20:00	火災	居室 2	玄関前	3分25秒
キャンパス	3 / 3	部分訓練	11:15 ~ 11:30	火災	作業室 1	駐車場	2分07秒
<ul style="list-style-type: none"> <li>・点呼時返事を大きくするように（利用者）</li> <li>・おはしの徹底（押さない・走らない・しゃべらない）</li> <li>・消化・誘導・放送の分担を明確にして責務を果たした。（職員）</li> <li>・毎回消火器を実際に使用して消火訓練を行なった。</li> </ul>							
<p>次年度への課題、方向付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が消火器の取り扱い方を覚えるようにしたい。</li> <li>・放送機器の取り扱いと順序の再確認が必要。</li> </ul>							

## 〈Ⅳ〉 広報

### 1. 広報誌「阿闍羅」

担当：奈良岡亜矢子、田中大生

#### ○内容

- ・第10号、第11号の発行  
(内容) 第10号：施設長より一言、作業報告(ネギ)、行事報告、決算報告  
第11号：ワークまつり、行事報告(西地区レク大会、県スポーツ大会 他)
- ・年3回の予定だったが2回(6月・12月)の発行だった。

#### ○次年度への課題

平成27年度は計画通り発行したい。

### 2. ホームページ

担当：中畑幸、飛嶋治輝、田中大生

#### ○内容

- ・ブログの更新(行事等の報告)
- ・広報誌「阿闍羅」の掲載(第10号、第11号)
- ・阿闍羅会決算書の報告(平成25年度分)
- ・出店イベントの告知(障がい者ショップ合同展示・即売会 in アスパム)
- ・阿闍羅会フェイスブック作成(ホームページとのリンク)

#### ○次年度への課題

行事等についてそれなりに更新は出来ていたが、事業内容等法人についての紹介や取り組みについて、更新や追加が低迷していた。また、社会福祉法人として、事業の透明性、地域貢献などを開示していくことが義務化されてきている事から、ホームページを十分活用するためにも、平成27年度はホームページを更新することができる職員を増やすため、その育成をしたい。

阿闍羅会公式ホームページURL

<http://ajarakai.jp/>

阿闍羅会公式ホームページ携帯サイト

<http://ajarakai.jp/i/>

阿闍羅会フェイスブックURL

<https://www.facebook.com/ajarakai>



↑ フェイスブック

← 公式ホームページ

### 3. その他の広報

担当：佐藤直幸、飛嶋治輝

#### ◇大鰐町民文化祭への参加

今年度はキャンパス・ショップともにレクの中で作品を作り、また一人一人から作品を提供していただいた。その他に、両施設のPOPを作り展示している。

作品の数もあり、スペースをうまく使えたのではと思う。

来年度は100周年記念の大鰐町民文化祭になるので、今年以上にアピールしていきたい。



※文化祭作品展示の様子

#### ◇地域の祭りなどへの参加

外商事業を中心にし、施設紹介も含め、生産物のアピール及び展示即売する形で参加した。また、当法人だけではなく、近隣の同様な施設の物についてもPR及び販売をしている。

##### 参加状況

- ・大鰐温泉つつじまつり
- ・各種施設のまつり
- ・全国生産活動就労部会全国大会
- ・全国知的障害福祉関係職員研究大会
- ・鰐 come 祭り
- ・大鰐まるごと商人市
- 青森大会
- など



## 〈V〉 研修及び会議

### (1) 会議開催状況

#### ①事業会議

担当：植田善久、竹内友紀

開催日	構成員	会議内容
3/20、4/17、5/22、 6/19、7/17、8/21、 9/18、10/16、11/20、 12/18、1/22、2/19	阿闍羅会 全職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事日程</li> <li>・ 作業予定</li> <li>・ 収支報告</li> <li>・ 職員体制について</li> <li>・ 事業展開について など</li> </ul>

#### ②給食会議

担当：十川文乃

開催日	構成員	会議内容
3/20、4/17、5/22、 6/19、7/17、8/21、 9/18、10/16、11/20、 12/18、1/22、2/19	阿闍羅会 全職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給食業務、内容の協議</li> <li>・ 思考調査の検討</li> <li>・ 調理、味付けの工夫等の検討</li> <li>・ 利用者給食指導の内容報告と検討</li> </ul>

#### ③ケース会議

担当：中平恵美

開催日	構成員	会議内容
5月 1日(木)	全職員	めだかの会報告、支援計画、ケースファイル 他(4月ケース会議合同)
6月 5日(木)		ケースカンファレンス、研修報告 他
7月 3日(木)		ケースカンファレンス、支援計画、研修報告 他
8月 5日(火)		ケースカンファレンス、養護学校中等部 施設・現場見学実施計画 他
9月 2日(火)		ケースカンファレンス、ヒヤリハット報告について 他
10月 2日(木)		めだかの会報告、モニタリング・支援計画書、個人別能力評価について 他
11月 6日(木)		研修報告、ケースカンファレンス 他
12月 4日(木)		めだかの会報告、ケースカンファレンス、 他
1月 8日(木)		ケースカンファレンス、研修報告 他
2月 4日(水)		めだかの会報告、ケースカンファレンス 他
3月 4日(水)		ケースカンファレンス、三者面談について 他
3月26日(木)		個人別能力評価について 他

## (2) 研修等参加(実施)状況

実施日	研修名	研修場所	参加者
5月20日	障害児・者福祉施設新任職員研修	青森県立保健大学	奈良岡亜矢子
5月27日	安全運転管理者講習	大鰐町総合 福祉センター	三上拓雄
6月30日	障がいを持つ人が地域で 安心して暮らすために	県民福祉プラザ	中畑幸
7月1日～ 7月2日	サンマッシュ 夏期セミナー	花巻温泉 ホテル紅葉館	植田善久
7月8日	食の安全セミナー	青森県立保健大学	十川文乃
7月11日	自閉症支援実技トレーニングセンター	アピオあおもり	中畑幸
7月19日	青森県ケアマネジメント ネットワーク実践研修	弘前市障害者生活支援 センターホール	中平恵美・佐藤直幸
8月24日	社会福祉 トップセミナー	青森県立保健大学	佐藤直幸
9月3日～ 9月30日	全国知的障害者福祉 関係職員研究大会	リンクステーションホ ール青森・ホテル青森	佐藤直幸・中平恵美 三上拓雄
9月10日～ 9月12日	福祉サービスを必要とする 罪を犯した知的障害者等の 地域生活支援を行う施設職 員等の研修	品川フロントビル	中畑幸
10月6日～ 10月8日	全国生産活動・就労支援部 会職員研修会	日比谷公会堂	中平恵美・三上拓雄
10月18日	青森県福祉オンブズマン ネットワークセミナー	弘前市立観光館	佐藤直幸・植田善久 中畑幸
10月21日～ 10月22日	相談支援従事者初任 者研修	県民福祉プラザ	中平恵美・植田善久 山中司
11月8日	サービス管理責任者 及び児童発達支援管 理責任者研修	青森県立保健大学	中平恵美・植田善久 山中司
12月20日～ 12月21日	サービス管理責任者 及び児童発達支援管 理責任者研修	観光物産館アスパム 青森県立保健大学	中平恵美・植田善久 山中司
2月28日	青森県知的障害者福 祉協会生産活動・就 労支援部会研修会	八戸プラザホテル	佐藤直幸

## 〈VI〉 地域生活支援

### (1) グループホームすみれ荘

○住居 定員6名、現員6名（平成27年3月31日現在）

利用者内訳 （就労1名、就労継続支援B型5名）  
（B判定6名）

○食事 メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。  
健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。

○地域との関わり

町内の行事であるねぶた祭り、宵宮等に参加している。

温泉地であり公衆浴場を利用して住民との会話が増えている。

[内容及び次年度への課題]

- ① 世話人が研修に参加して、より質の高い支援を求めていく。
- ② バックアップ施設としても訪問回数を増やして入居者の現状を把握して、何でも相談しあえる環境を作っていきたい。
- ③ 利用を希望する人が増えてきているため、それに答えることが出来るようにしていきたい。

### (2) グループホームあやめ

○住居 定員6名、現員6名（平成27年3月31日現在）

利用者内訳 （生活介護1名、就労継続支援B型5名）  
（区分2：3名、区分4：2名、区分5：1名）

○食事 メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。  
健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。

[内容及び次年度への課題]

- ① 世話人が研修に参加して、より質の高い支援を求めていく。
- ② 利用者の生活の安定をはかり、住みやすい環境を作っていく。

## 〈Ⅶ〉 苦情解決

### ○施設担当職員

苦情解決責任者 施設長 佐藤直幸  
苦情受付担当者 支援課長 中平恵美

### ○訪問記録

訪問日	委員名	状況と問題点
4 / 2 1	村上、工藤	3名の利用者と面談 特に問題なし
5 / 1 9	村上、工藤	2名の利用者と面談 特に問題なし
6 / 2 3	村上、工藤	7名の利用者と面談 特に問題なし
7 / 1 6	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
8 / 1 1	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
9 / 2 2	村上、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
1 0 / 2 0	村上、工藤	7名の利用者と面談 特に問題なし
1 1 / 2 0	村上、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
1 2 / 1 5	村上、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
1 / 1 6	工藤、寺口	4名の利用者と面談 特に問題なし
2 / 1 6	村上、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
3 / 1 7	村上、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし

## 〈Ⅷ〉 外商

担当：中嶋綾子

がんばろう障害者元気ショップ事業の各施設との販売体制を継続する形で、協議会への参画の代わりに売買契約書を交わし進めている。しかし契約施設間の連携については施設によって協力体制に違いがあり全てに於いて連携が取れてるわけでは無かった。利用者の工賃向上については取引先であった企業様より新規受託作業を頂くことができ多少ではあるが貢献できた。

商品の、販売・展示・PRについては、昨年よりイベントへ多目に参加することにより出来たように思えるが、工賃へ反映されるほどの収入増とまではいかなかった。

年間売り上げは、取引先数が減少しただけでは無く、現存の取引先も納品回数の減少もあり、それを補う新たな取引先の確立が出来ず、昨年度より下がっている。

### ○参画施設及び年間売上

ワークキャンパス大鱈	2, 804, 850円
ワークショップ大鱈	2, 654, 750円
ワークランド茜	173, 430円
月見野園	0円
月見野食房	36, 500円
夢工房月見野	306, 150円
いわきの里	12, 050円
玄輝門	22, 660円
エイブル	260, 315円
MEGO	16, 600円
青松園	0円
ワークセンターつばき	1, 650円
ないすらいふ	103, 975円
つがる野工房	0円
就労サポート弘前	121, 250円
せせらぎの園	462, 795円
サポートセンターさくら	5, 000円
ワークセンターのれぞれ	32, 640円
合 計	7, 014, 615円

○参加イベント

5月24日～	6月 1日	大鱈温泉つつじまつり
6月 7日～	8日	第45回まるごと大鱈商人市
7月20日		ジムニースーパークロス2014
7月26日～	27日	第46回まるごと大鱈商人市
9月 3日～	5日	全国知的障害福祉関係職員研究大会 青森大会
10月 6日～	8日	全国生産活動就労支援部会職員研修会 北谷会
10月25日～	26日	ケッパレ東北復興支援フェア
11月12日		青森県社会福祉大会
11月22日		第9回アップルフェア
11月23日		第48回まるごと大鱈商人市
11月30日		障がい者ショップ合同展示・即売会 in アスパム
12月10日		第29回大鱈町社会福祉大会

※イベント参加回数 12回 延参加日数 27日間

○次年度への課題

平成26年度は、前年度より多目にイベントへ参加してきたが、工賃反映にはあまり効果が得られなかった。そのため平成27年度はイベントへの参加の際、出店テント内での製造販売（焼き物・揚げ物等）を模索し、集客や売上増に繋げたい。

販路拡大・製品紹介については県からの助言をふまえ方向性を確立していく。そして、新たな方向性として県からの提案があった移動販売車の購入も視野にいれ、宣伝力・認知度アップを強化したい。

また、平成26年度に行うことが出来無かった各契約施設との協議（販売戦略会議）を平成27年度中に実施し、消費者ニーズの把握や製品需要の掘り起こしと、関係各所からの情報収集を行うことにより、利用者の工賃増に繋げていきたい。